

平成30年度

# 学校関係者評価報告書

岡山自動車大学校

令和元年 9月 26日

岡山自動車大学校  
校長 原田公德 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 山本 茂

## 学校関係者評価報告書

平成30年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

### 記

#### 1 学校関係者評価委員

- 山本 茂 (学校法人第一原田学園 評議員)  
川上 薫 (一般社団法人 岡山県自動車整備振興会 事業部 課長)  
小椋 竜太 (岡山ダイハツ販売株式会社 サービス部 係長)  
水野 正和 (岡山ダイハツ販売株式会社 中庄店 副店長)

#### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和元年9月26日(会場 岡山自動車大学校 会議室)

#### 3 平成30年度学校関係者評価報告

##### 学校関係者評価委員からの主な意見

##### (1)教育理念・目的・人材育成像

前回の提言を受けて、一級の指導対策を再度強化し一丸となって全員合格に取り組んだ結果17名受験し17名合格し再び100%合格を達成できたことの報告。

##### (2)学校運営

今後の改善点として、個別授業科目名をより時代に合う名称に改良し、内容ともにより学生にとって理解しやすいものに変えていくことを計画している。

##### (3)教育活動

教員のスキルアップという面で、同学園に高校があるというメリットを活かしおかやま山陽高校の研究授業へ参加し、教科教育の指導力向上を図っていく。

**(4) 教育成果**

一級小型自動車整備士の合格率評価項目を1ポイント上げたことの確認。  
一級課程開設以降の平均合格率も上がった。ただし現状で満足はしていない。  
退学率低減を目指しているが、やはり毎年各学年1名ずつくらいはいる。  
辞める理由は様々だが、せっかく岡自大を選んできてくれたのだから退学率0%を目指したい。

**(5) 学生支援**

今年度より高等教育無償化制度が実現し、岡自大も申請し、申請が認められたことの報告。

**(6) 教育環境**

平成30年度に新たに外部診断機6台、令和元年にはシャシダイナモ実習専用の実習車両、騒音振動計を導入予定である。

**(7) 学生の受入れ募集**

項目評価は④であるが、年々減ってきている。全国的な問題である。  
おかやま山陽高校オープンスクールとのコラボ企画を検討中である。  
8月24日、25日に100名以上の中学生が見学に来た。

**(8) 財務**

現在の項目評価は④であるが、学生数が減ると財政状況は悪化していくので今後の課題である。

**(9) 法令等の遵守**

特に提言なし。

**(10) 社会貢献・地域貢献**

特に提言なし。

**総括**

全体としては特に問題はなく、適切に評価されているが、合格率や施設面などを考慮するともっと評価が高くてよい項目もある。

施設見学により最新の設備が整備されていることが分かった。

今後も継続して適切な学校運営をしていただきたい。

## 学校関係者評価委員会からの意見をうけて学校の今後の取組み・改善

### (1) 教育理念・目的・人材育成像

一級の指導対策を再度強化し、一丸となって全員合格に取り組んだ結果17名受験し17名合格し再び100%合格を達成できたので今後も学生に合わせて毎年改良していきたい。

### (2) 学校運営

今後の改善点として、個別授業科目名をより時代に合う名称に改良し、内容ともにより学生にとって理解しやすいものに変えていくことを計画している。

### (3) 教育活動

教員のスキルアップという面で、同学園に高校があるというメリットを活かしおかやま山陽高校の研究授業へ参加し、教科教育の指導力向上を図っていく。

### (4) 教育成果

一級小型自動車整備士の合格率評価項目を1ポイント上げたことの確認。  
退学率低減を目指しているが、やはり毎年各学年1名ずつくらいはいるので辞める理由は様々だが、せつかく岡自大を選んでくれたのだから0を目指したい。

### (5) 学生支援

今年度より高等教育無償化制度が実現し、岡自大も申請し、申請が認められたので、今後も修学しやすくなる制度があれば申請をしていきたい。

### (6) 教育環境

平成30年度に新たに外部診断機6台を導入。  
令和元年にはシャシダイナモ実習専用の実習車両、騒音振動計を導入予定である。

### (7) 学生の受入れ募集

おかやま山陽高校スクールとのコラボ企画を検討中である。

### (8) 財務

現在の項目評価は④であるが、学生数が減ると財政状況は悪化していくので今後の課題である。

### (9) 法令等の遵守

今後も国土交通省の定期監査を高評価でクリアできるよう継続して法令遵守に努めていく。

### (10) 社会貢献・地域貢献

## 総括

学校関係者委員からの評価は良好であり、本校の自己評価は適切であると考えられる。

今回の委員会では、取得資格の必要性についての意見が出た。

今後も国家資格取得を最優先事項とし、その他に何の資格が必要であるかの取捨選択をしていかなければならない。

ただし、ホームページに取れる資格として掲載している以上は責任を持って指導していかないといけない。

委員の意見・提言がより出しやすいように評価項目自体も今後も常に見直していきたい。